



書道家
武田双龍



先月の「イカす人・綺麗な人」珠玉の言葉
穴戸 開

×

悠々として急げ



第十七筆

悠々として急げ

開高健さんの言葉ですね。海外に行くとなりますよね。帰る時間とかいろいろなスケジュールを「点」で決めますよね。点を把握して、あとは、ゆったりすごすと。間に合わないから走るとかしないで、遅れたらそれはそれでいいよ、という感じで旅を楽しむ。旅で何かあったとき、平常心でいられることの重要さ、というのかな。それをもつと、スリに遭っても、物をなくしたりしても、平気でいられる。それも旅の一部と考えられるんですね。

武田双龍

白鳥の姿を連想しながら筆をとりました。

昭和五十九年熊本県生まれ。三歳より書を学び始め、母・武田双葉に師事。書道家・武田双雲は実兄。書道教室 ふたばの街を開講。テレビや新聞、雑誌など幅広いメディアで活動中。
<http://so-ryu.com/>